

高倉徳太郎 たかぐらう キリスト教神學者、牧師。明治十八年四月（二十一日）東京都生れ、昭和九年四月三日歿（八五—九五）。東京帝國大學法科大学在學中、植村止人より受洗。大學を中退して東京神學社卒。牧師となり、大正七年神學社教授。十年イギリス留學、十二年小歸朝し、翌年神學社校長。また戸山教會（のち信濃町教會と改稱）、更に昭和五年日本神學校を設け、病を獲て自殺。『高倉徳太郎説教集』全二卷、『高倉全集』全十卷、『高倉徳太郎著作集』全五卷等刊。

佐藤敏夫著『高倉徳太郎とその時代』（昭和五十八年七月二十一日新教出版社）がある。

